



令和7年12月23日(火)発行(文責:松原秀敏)

世界に目を開け!! 今日の学びは 夢への一歩

すっかり寒くなりました。朝、円形花壇の前でいさつをしています。少しでも太陽の光で温まろうと、ちょっとずつ動いて電柱の影を避けながらいさつをしています(笑)

さて、この言葉「世界に目を開け!! 今日の学びは 夢への一歩」に覚えはありますか? 崇化館中学校体育館の外壁にあります。今から14年前の2011年、崇化館中学校を会場に、市内・市外から多くの先生方を招いて教育研究発表会が開催されました。その時に設置されたそうです。教育研究発表会が、来年2026年11月、15年ぶりに本校で開催されることが決まっています。

もう一つは、崇化館中学校の話ではありませんが、来年2026年4月から、豊田市内のある公立高校に附属中学校が開設されます。これによって愛知県内の8校の公立高校に附属中学校が開設されることになります。8校の附属中学校に共通するコンセプトは、「さまざまな人と協働しながら、答えのない課題に対して、失敗を恐れずチャレンジし、社会に変化を起こす『チェンジ・メーカー』を育成すること」です。

この『チェンジ・メーカー』という言葉について、私の思いを話します。はじめに朝のいさつの話をしましたが、多くは、みなさんの「先手」のいさつに、私が「おはようございます」と返しています。ときどき、私からのいさつが先になることがあります。しかし、その流れを変えるかのように、私より先に元気にいさつする人が出てきます。するとまた、みなさんの「先手」のいさつが続くようになります。「あ、今の生徒が、今日の『チェンジ・メーカー』だな」と思いながら、いさつを楽しんでいます。私は『チェンジ・メーカー』になるチャンスは、身近にたくさんあると思っています。

こんな言葉があります。アメリカ・テキサス大学の卒業式で語られて、多くの人から注目された言葉です。「世界を変えようと思うなら、まずベッドメイクから始めよう!」世界を変えるようなことであっても、まずは身近なところから始まっていくものだと思います。この後の「国際理解集会」を楽しみにしています。もしかしたら『チェンジ・メーカー』が登場するかもしれませんね。

2016年も、みんなで「名場面」を探しに行きましょう。
よいお年をお迎えください。(12.23 冬休み前集会より)

